

## Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 25 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2018 年 10 月 20 日(土)

試合時間：18：20～ CC：柏木 琢磨 FU：仲間 芳幸 SU：野田 宏樹

|        |         |    |       |    |         |        |
|--------|---------|----|-------|----|---------|--------|
| 九州産業大学 | ●<br>80 | 26 | —1st— | 13 | ○<br>83 | 東海大学九州 |
|        |         | 14 | —2nd— | 21 |         |        |
|        |         | 15 | —3rd— | 20 |         |        |
|        |         | 25 | —4th— | 29 |         |        |

### 第1ピリオド

開始早々、九産大#58鈴木が3Pシュートで先制する。対する東海大は#6石井がジャンプシュートを決める。どちらも積極的なオフェンスの流れで得点していく。九産大は#32Anthonyを軸にオフェンスを展開し#13上良、#30松川が得点していく。負けられない東海大は#6石井のジャンプシュート、#7石橋、#14権藤の3Pシュートで応戦するも、勢いにのった九産大が26-13、13点リードで第1ピリオドを終える。

### 第2ピリオド

追いつきたい東海大は、#14権藤が3Pシュートを決めチームに勢いをつける。すると#13久保が2本のレイアップシュート、#14権藤の3本目の3Pシュートで点差を詰め、堪らず九産大は、タイムアウトを請求。しかし東海大#13久保がバスケットカウントを奪い、流れを渡さない。点差を離したい九産大は、#47宮崎の3Pシュート、#18大城から#58鈴木のファストブレイクでリズムを作り、#58鈴木、#47宮崎が連続で3Pシュートを決め40-34、九産大6点リードで後半へ。

### 第3ピリオド

九産大は、ディフェンスを3-2のゾーンディフェンスにし仕掛けていく。するとディフェンスが機能しシュートチャンスを与えない。また、リバウンドからブレイクで流れを作り相手のファールを誘う。対する東海大は、#14権藤、#20玉井が2本の3Pシュートを沈め、一気に点差を縮める。またパスゲームで流れを作り、#21松井が2本のレイアップシュートを決める。細かいパスを繋ぎ一進一退の攻防が続くなか、東海大#6石井がジャンプシュートと2つのバスケットカウントを奪い、55-54、九産大が僅かにリードし勝負は最終ピリオドへ。

### 第4ピリオド

第3ピリオドの勢いそのまま東海大は、#13久保のリバウンドショット、#20のジャンプシュートが決まり立て続けに得点し遂に逆転する。九産大は、#32Anthonyのインサイドを中心に攻める。さらに#9米須、#47宮崎の3Pシュートで東海大に食らいつく。一進一退の攻防が続くなか、東海大#6石井がジャンプシュートと2つのバスケットカウントでチームを奮起させる。#21松井もチャンスで3Pシュートを沈め、九産大との点差を広げる。トランジションの速さとシュート力で勢いづいた東海大が80-83で勝利し、3勝目を手にした。